

准教授

藤田 稔子

■ 学歴

1. 2005年 神戸市看護大学大学院看護研究科実践看護学小児看護学専攻博士前期課程 修了

■ 学位

1. 2005年 修士（看護学）

■ 研究分野

1. 小児看護学

■ 研究キーワード

1. 子どもの感染症（感染症対策、予防接種）
2. 小児ぜんそく
3. 医療保育

■ 研究課題

1. 医療保育専門士と小児病棟看護師との協働の在り方について→特に、子どもの理解が乏しい新人看護師に対して、保育の専門性を有効的に活用した取り組みについての実施と考察する。（医療保育士との共同研究）
2. 新型コロナウイルスの流行を体験したことによって、子ども達がどのように感染症予防対策への行動が変容したか、また、意識の変化について考察する。（医療保育士との共同研究）

■ 担当授業科目

1. 子ども学基礎演習（通年） 必修
2. 子ども学特別演習（通年） 必修
3. 初年次セミナー（前期） 必修
4. 保育内容「健康」の指導法（前期） 選択
5. 子どもの健康と安全（後期） 選択
6. 子どもの保健（後期） 選択
7. 在宅保育（後期） 選択
8. 子ども音楽療育実習（後期） 選択

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|--|
| 1. | 授業科目名【初年次セミナー】 |
| | 大学人文学部観光文化学科の高橋ゼミ3年生と4年生と、MOTENA-Seaプロジェクトの「子ども対象イベント企画」を立案するまでのプロセスを一緒に進めていきました。その過程で、上級生のプ |

| | |
|----|---|
| | レゼンテーションを目にすることによって、「良き手本」として受講生達が学んでくれました。また、グループワークにおいては、担当教員だけではなく3・4年生が関わってくれたおかげで、よりきめ細やかな助言が可能となりました。結果として3・4年生がTAの任を担ってくれ本科目の内容が充実しました。また、門司港へのフィールドワークも取り入れることができたため、地元関門地区の理解を深めただけでなく、学生同士の交流を深めることにもつながりました。 |
| 2. | <p>授業科目名【保育内容「健康」の指導法】</p> <p>例年は、附属シオン山幼稚園の前の公園で「外あそびの環境」を学ぶワークをしていましたが、今年度は、勝山公園へ出向いて、「園外保育を考える」学外授業を取り入れました。当日は、悪天候ではありましたが、受講生達の希望もあり傘をさしながら演習となりました。ワークでは、地図にメモを取りながら、グループによっては写真を撮りながら進めていました。提出されたワークシートは、細かい視点でとらえている記述も多く、実際にその場で感じ学ぶことの大切さを改めて感じ、次年度も内容をブラッシュアップして演習を展開していきたいと考えています。</p> |
| 3. | <p>授業科目名【子どもの健康と安全】</p> <p>本科目の最も重要な「応急処置法」の演習は、看護学科のご協力の元、基礎看護実習室で2コマ続きで実施することができました。本科目の演習のほとんどが、1コマで全員実技指導することに毎年困難を感じており、現場での子ども達の生死にかかわる重要な内容は、休講補講を駆使して連続コマで実施するように工夫しています。しかしながら、本科目の特性がなかなか理解されず、授業時間の変更がスムーズにできないことが今後の課題ではありますが、できる限り、現場で評価の高い「西女卒業生の確かな保健的知識と技術」を今後も保持し送り出せるよう教育していきたいと思っています。</p> |
| 4. | <p>授業科目名【在宅保育】</p> <p>認定ベビーシッター資格取得のための必修科目のため、できる限り実際の様子を伝えながら、「使える」知識と技術の教授に努めました。また、「学ぶ楽しさ」を感じてもらいながら、自ら調べ、考えてグループでの課題を決めたり、ゲーム感覚で知識を得たり、演習の方法を工夫しました。受講生達は、スマホを駆使しながら、疑問に思ったことはすぐに検索し、学びを広げている姿が常にありました。そのためか、例年同じような難易度の小テストを実施していますが、今年度の小テスト点数は今までより高得点でした。</p> |

■ 学会における活動

| | 加入時期 | 所属学会等の名称 | 役職名等（任期） |
|----|---------------|----------|----------|
| 1. | 2000年4月～現在に至る | 日本小児保健協会 | |
| 2. | 2005年4月～現在に至る | 日本小児看護学会 | |
| 3. | 2010年4月～現在に至る | 日本医療保育学会 | |

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

| | 発行又は 発表の年月 | 著書、学術論 文等の名称 | 単著・ 共著の別 | 発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称 | 概 要 |
|------|---------------|-----------------|-------------|-----------------------------|-----|
| (著書) | | | | | |
| 1. | | | | | |

| | | | | |
|--------|--|--|--|--|
| (学術論文) | | | | |
| 1. | | | | |
| (翻訳) | | | | |
| 1. | | | | |
| (学会発表) | | | | |
| 1. | | | | |

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

| | | | | |
|----------|------|------|--------------------|-----------------|
| (1) 共同研究 | | | | |
| | 研究題目 | 交付団体 | 研究者 ○代表者（）内は学外者 | 交付決定額 (単位：円) |
| 1. | | | | |

| | | | | |
|----------|------|------|-----------------|----|
| (2) 個人研究 | | | | |
| | 研究題目 | 交付団体 | 交付決定額 (単位：円) | 備考 |
| 1. | | | | |

■ 社会における活動

| | | | |
|----|--------------|---------------------|---------|
| | 任 期 期 間 等 | 団体・委員会等の名称 (内 容) | 役 職 名 等 |
| 1. | 2018年～現在に至る | 北九州市私立保育園連盟 | 理事 |
| 2. | 2019年～現在に至る | 社会法人 真祐会 | 評議員 |
| 3. | 2023年度 | 日本高等教育評価機構 | 評価員 |

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

| | | | |
|----|---------------|---------------------|------------|
| | 任 期 期 間 等 | 会議・委員会等の名称 (内 容) | 役 職 名 等 |
| 1. | 2010年4月～現在に至る | 倫理委員会 | 副委員長 |
| 2. | 2016年4月～現在に至る | 就職委員会 | 副委員長 |
| 3. | 2019年4月～現在に至る | FD委員会 | |
| 4. | 2023年4月～現在に至る | 公開講座委員会 | 委員長 |
| 5. | 2023年4月～現在に至る | | 短期大学部宗教主事補 |
| 6. | 2023年4月～現在に至る | 書道部 | 顧問 |